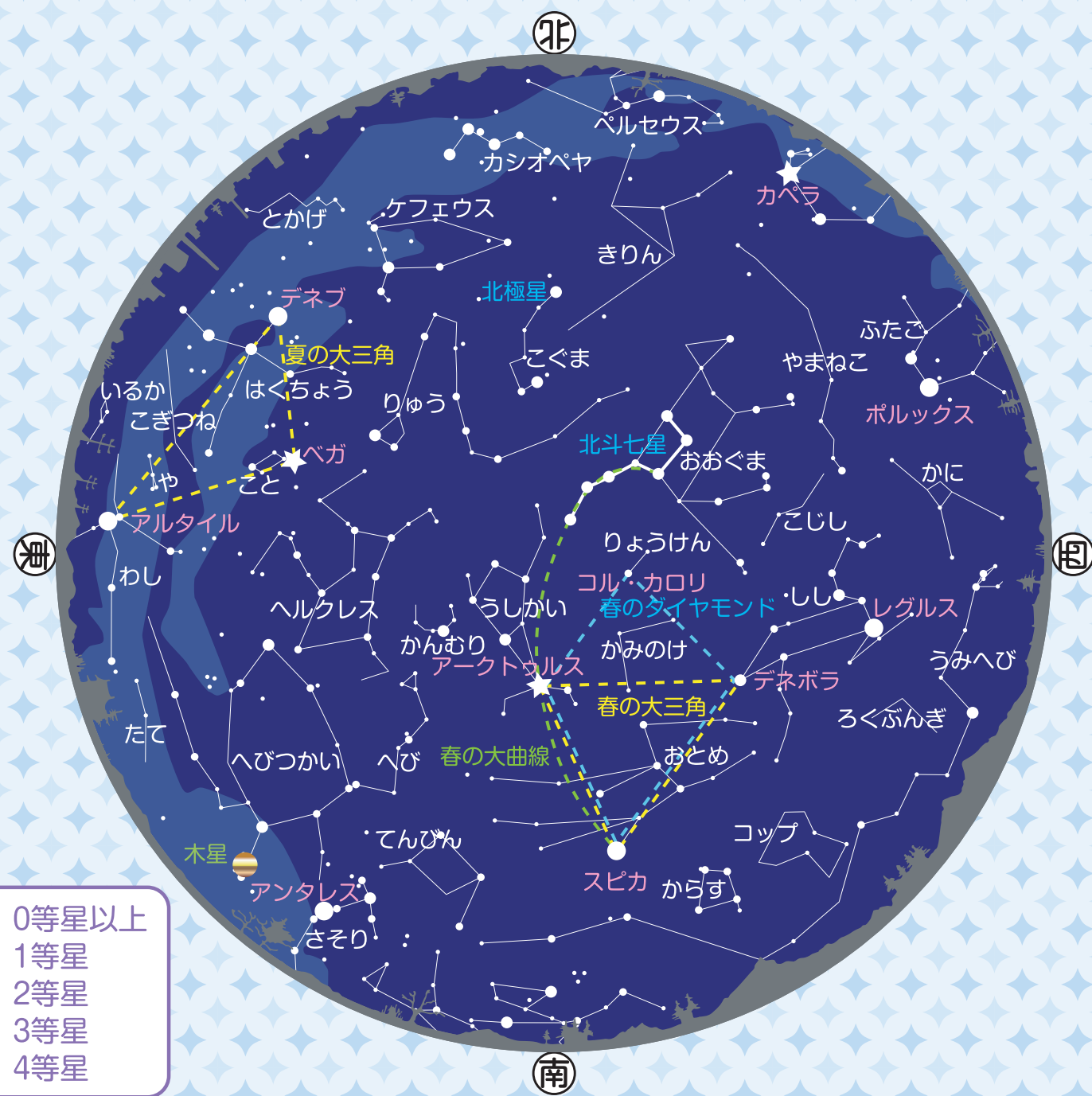


2019年5・6月の空

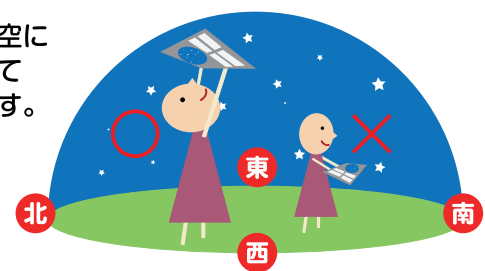


- ★ 0等星以上
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

春はいろいろな形を探すのが楽しい季節です。まずは水をくむ道具「ひしゃく」の形の星並び、「北斗七星」。その持ち手の部分をカーブに沿って伸ばし、アークトゥルス、スピカの2つの星をつなぐと「春の大曲線」を見つけられます。見つけた2つの星とデネボラを結ぶと「春の大三角」、さらにコル・カロリも加えた「春のダイヤモンド」と夜空で次々に見つけてみましょう。

星図の使い方

星図は空にかかげて使います。



空にかかげたら、自分の向いている方角と星図の方角とを合わせて星を探しましょう。



星図のように見える時刻

5/1 23時ごろ 6/1 21時ごろ
※惑星の位置は変化するため、6/1の位置を示しています。

月のかたち

- 満月 5/19、6/17
- 下弦 5/27、6/25
- 新月 5/5、6/3
- 上弦 5/12、6/10

宇宙ミッションを追え！

小惑星探査機「はやぶさ2」

私たち生命のものは何か、太陽系はどのように生まれたのか？その答えを探すため、JAXAが2014年に打ち上げたのが「はやぶさ2」です。その使命は、小惑星「リュウグウ」の欠片を地球へ持ち帰ることです。

2019年2月にリュウグウに着地したはやぶさ2は、欠片を採ることに見事成功したと見られています。今後も探査を続け、2020年末には地球へと帰ってくる予定です。みんなで応援しましょう！



こぐま座のおはなし

こぐま座はギリシャ神話では狩人アルカスの姿とされています。熊の姿に変えられた母親カリストを気づかずに倒そうとしてしまったため、神様に熊に変えられ天に上げられました。その時しっぽをつかまれたため、長くなってしまったともいわれています。母親のカリストはおおぐま座として隣に描かれています。

〈みつけかた〉
見つけやすい北斗七星から探しましょう。北斗七星のひしゃく型のうち、すくう部分の端から2つの星を使います。2つの星をつないで5倍ほど伸ばしていくと北極星にたどりつきます。この北極星はこぐま座のしっぽの星です。こぐま座をつないでいくと北斗七星に似た小さな曲がったひしゃく型が見つかります。

こぐま座、北斗七星ともに一年中北の空で見られます。

